



【法律相談編】

■ 悪い対応

体調不良で前の職場を退職した高野さん。新たな仕事についたものの、給料が下がり住宅ローンの返済が不可能に。家計は厳しく、多重債務を抱えてしまいました。

法律相談の予約を入れ、この日、最初の相談日を迎えました。



男 性：（ドアをノックをする）

弁護士：どうぞ。

男 性：（ドアを元気に開け、入室する。明らかに元気がない）
こんにちは。電話した高野です。

弁護士：こちらにおかけください。弁護士の武田と申します。

男 性：よろしくお願いします。

男 性：はい。（着席する）

弁護士：今回は、どのようなご相談でしたか？

男 性：あっ…はい…。お電話でもお話したんですが…、借金がかさ
んで、支払いが大変になったので、多重債務の整理とかは、
自己破産とかの方法があると聞いたので、先生に相談すれ
ば、なんとかなるのかなあと…

弁護士：自己破産の手続きですね。

男 性：は、はい…、そうです。申し訳ありません。（自分を責めて
いる）

弁護士：実際にどのくらい借金を抱えているのか教えてください。

男 性：はい。もともと住宅ローンが1200万円ほどあったんで
す。元いた職場を体調不良で辞めて転職したんですが、月給
も下がって、ローンの返済が厳しくなってしまったんです。

弁護士：住宅ローンの1200万円ですね。

男 性：ええっと、それだけじゃないんです。

弁護士：それだけじゃない…？



男 性：はい。最初は何とか、貯金などを切り崩してやっていたんですが、子供も大学に進学していて、学費とかもあって、何とかアルバイトしてもらったりして、少しでも負担を下げられるように、ってしてくれていて（少しずつ涙ぐむ）。妻もそれまで主婦だったんですが、慣れないパートに出るようになって、本当に皆に迷惑をかけてしまって（頭を抱えてしまう）



弁護士：それで、借金は、どのくらいあるんですか？

大変なのはわかりますが、きちんと教えていただかなければ、相談にもものごとができませんので、最後まできちんと話をしてください。



男 性：すみません。ローンの返済も厳しい月があって…何とかならないか…て言われて、それで家族にも内緒で借金して、それがだんだんかさんでしまって…

弁護士：銀行以外からも借りてしまったということですか？
消費者金融でしょうか？



男 性：はい、そうです。



弁護士：消費者金融は、利息も高く、返済が滞ると大変なことくらい、知っているはずですよ。

男 性：わかってはいたものの、もうどうしようもなくなってしまって、もう切羽詰って、お金がなくて、取立ての催促があれやこれやとくるので、家族にも心配かけてしまい…

弁護士：そうですね。ご家族がかわいそうですね。

でも、高野さんのように借金を抱え込み、借金の返済のためにまた借金をするという、いわゆる多重債務となっている方は決して少なくないですよ。取立て等を苦に、転職、離婚、別居、自殺、犯罪などに追い込まれることまであるんですから。（批判的に話す）



男 性：自己破産してもどうしても、家族に迷惑をかけますよね。結局、どうやっても家族に心配かけることになるし、相談に行っても、やっぱり解決できないんじゃないかと思って…周りに迷惑かけないためには、もう死ぬしかないんです。



弁護士：死んでもどうしようもないですよ。

死んだところで何の解決にもならず、残されたご家族が、あなたの借金やもろもろの後始末をすることになって大変なんですよ。

死んでしまえば、あなたは楽になるかもしれませんが、家族のことを心配されるのであれば、そんなことは考えないほうがいいでしょうね。



男性：あっ、すみません。もう本当に辛くて、借金のことを考えると眠れなくなって、お酒を飲んで寝ようと思っても寝付けず、夜に目が覚めるとあとはずっと、死ぬことばかりを考えていて、仕事に行くのも辛くなって。

弁護士：そんなんじゃだめですよ。



お酒を買うお金があるのなら、返済にまわす努力をしたり、仕事に行かなければ、収入もないでしょう。

ここが頑張りどころですよ。

男性：でも、なんだか、やる気も出ないし、頑張りもきかないんです。

体調もすぐれないし、すぐに疲れてしまうし…。

弁護士：そんな弱音を吐かずに、がんばりましょう。なんとか、なりますから。私に任せてください。



男性：はあ…、大丈夫かなあ…。でも、やっていけるか不安です。

弁護士：はあ（あきれた表情）

高野さんがやる気がなければ私は協力できませんよ。どうしますか？



男 性：……ちょっと、どうしようかな……（そうするか決められず悩む）

弁護士：相談を続けるか、やめるかは、高野さんが決めてください。どうしますか？（答えをせかす）

男 性：あっ、今日は、やめておきます…時間を取らせてしまい、すみませんでした。

